

ご関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

佐渡市で「自然災害の危険性」をテーマに防災講演会の講師を派遣

近年、全国各地で従来の想定を遥かに超え、甚大な被害をもたらす自然災害が数多く発生しています。赤泊地区においてはここ数年、人命に関わる様な大規模な自然災害は発生していませんが、この先、いつ何時同じような災害に直面するか分かりません。

その様な状況下において、「これからも安心して安全な暮らしが続けられる様、地域住民一人ひとりが地域防災意識を高める機会の一助としたい」として、赤泊地域づくり協議会が防災講演会を実施した。この講演会に日本防災士会・新潟県支部から、講師として 2 名を派遣いたしました。

概要

日 時: 令和 4 年 11 月 22 日(火) 18 時 30 分~20 時 30 分

会 場: 赤泊総合文化会館 3 階 多目的ホール

主 催: 赤泊地域づくり協議会

題 名: 「赤泊地区における自然災害の危険性と日頃の備え」

講 師: 日本防災士会 新潟県支部 学校防災教育推進部長 古俣 和博

日本防災士会・新潟県支部 事務局長 成川一正

来場者: 110 名

講演会の様子



成川防災士からの提言

- お住まいの地区の災害リスクを知ろう
- 多く時間を過ごす場所の災害リスクも
- 気象や防災情報を常に持ち歩こう
- すぐに逃げれる「準備」をしよう
- 「互近助力」を備えよう(山村武彦氏)
- 自主防災会(集落)の避難行動計画

警戒レベルの組み合わせゲーム



古俣防災士からの提言

- 「災害種類別に避難する場所を決めておく」
 - 地震、津波、洪水、大雨(土砂崩れ・浸水)
- 普段からハザードマップの確認をしておく
- 避難場所の確認(垂直避難もあり)
(高台もあり)
- 命を守れる場所があなたの避難場所
- 家族で災害について話し合う(防災会議)
- マイタイムラインを作成しておく